

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

令和7年度第1回（第54回）合同会議議事概要

開催日及び場所	令和7年7月17日（木）中央合同庁舎第8号館 特別大会議室
委員	委員長 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明 （横浜国立大学大学院国際社会科学研究院国際社会科学部門教授） 委員 市毛 由美子 （弁護士） 委員 金井 睦美※ （公認会計士） 委員 寺田 麻佑 （一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授） ※ 当番委員
議事	令和6年度第3・4四半期の契約に係る審議

○令和6年度第3・4四半期の契約に係る審議		
審議対象期間	令和6年10月1日～令和7年3月31日	
対象案件の説明	○対象期間における契約件数（内閣官房96件・内閣法制局3件・内閣府本府225件）について事務局から説明 ○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・落札率が低くなった案件について、その理由及び履行状況を確認する。 ・落札率が高く、かつ1者応札となった案件について、その理由を確認する。 ・予定価格の作成方法について確認する。 さらに以下の観点から各案件を抽出した。	
審議抽出案件	4件	
【一般競争入札】 最低価格落札方式	(内閣官房) 1件 (関心事項) ・落札率が極端に低くなっている理由及び履行状況 ・予定価格の作成方法	契約件名：情報共有（JISPシステム）システムの機器等の撤去、廃棄、データ消去業務 契約相手：三洋商事（株） 契約金額：77,000円 契約日：令和6年11月28日 担当部局：内閣サイバーセキュリティセンター※ ※R7.7.1より「国家サイバー統括室(NCO)」に改組
【一般競争入札】 最低価格落札方式	(内閣府) 1件 (関心事項) ・落札率が低くなっている理由及び履行状況 ・予定価格の作成方法	契約件名：土地等利用状況管理システムの改修に係る入力地図データ整備 契約相手：（株）東京地図研究社 契約金額：7,282,000円 契約日：令和6年10月2日 担当部局：政策統括官（重要土地担当）
【一般競争入札】 総合評価落札方式	(内閣府) 1件 (関心事項) ・一者応札となった理由及び技術点における競争が働いていないように見受けられる理由	契約件名：防災IoTインターフェース 運用・保守業務 契約相手：（株）セック 契約金額：88,000,000円 契約日：令和6年12月4日 担当部局：政策統括官（防災担当）
【一般競争入札】 総合評価落札方式	(内閣府) 1件 (関心事項) ・一者応札となった理由 ・予定価格の作成方法	契約件名：災害時に活用可能なキッチンカー・トレーラーハウス等に係る登録制度の登録データベースシステム等の構築及び運用業務 契約相手：（有）ピーアンドエス 契約金額：56,856,800円 契約日：令和7年3月31日 担当部局：政策統括官（防災担当）
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

○その他
-

意見・質問	回答
1 情報共有（JISPシステム）システムの機器等の撤去、廃棄、データ消去業務	
<p>予定価格と入札金額の乖離について、具体的な理由を確認したい。</p>	<p>本件の入札に当たっては、事前の現地確認を参加要件としており、現地を確認した結果、低コストでできると事業者が判断したことから、市場価格等を参考に作成した予定価格と乖離が生じたものと思われる。</p>
<p>落札率が極端に低くなっているが、履行状況を確認したい。</p>	<p>事前に事業者に対して作業要領等を作成させ、作業手順等を確認した。また、機器の撤去やデータの消去には職員が立ち会い、作業結果の報告書等によって実施結果の記録を確認しており、仕様書のとおり履行されたものと考えている。</p>
2 土地等利用状況管理システムの改修に係る入力地図データ整備	
<p>落札率が低くなっている理由及び履行状況を確認したい。</p>	<p>低入札に係る確認をしたところ、過去の実績の知見を活用することにより、効率的に業務実施が可能であると事業者が判断し、低価格の応札になったと認識している。履行状況については、月1回程度の打合せを実施し進捗状況を確認し、仕様を十分満たした成果が出ているものと確認している。</p>
<p>必要な労務費が契約額に適正に反映されていない恐れがあるのではないか。</p>	<p>区域ごとの地形や筆数に応じて合理的な人日見積りを提示されており、必要な作業量を把握したうえで算出されているものと判断した。今後とも労務費を含めた業務履行の可能性の確認について徹底してまいりたい。</p>
3 防災IoTインターフェース 運用・保守業務	
<p>一者応札となった理由について確認したい。</p>	<p>本システムは、構築した事業者以外の第三者であっても運用・保守業務を行えるが、他社の構築したシステムを運用・保守するにはリスクがあると判断され、結果的に一者応札となったものと考えている。</p>
<p>システム構築と運用・保守業務を一体化して入札にかけることはできないのか。</p>	<p>システム構築と運用・保守業務を一体で契約するには、複数年度にわたる予算措置が必要といった予算面での課題はあるが、構築と運用・保守との連続性やシステムの安全性の面などでメリットが期待できるため、引き続き検討していきたい。</p>
4 災害時に活用可能なキッチンカー・トレーラーハウス等に係る登録制度の登録データベースシステム等の構築及び運用業務	
<p>一者応札となった理由について確認したい。</p>	<p>入札説明書は約30者が取得していたが、実際に応札したのは1者のみであった。一部聞き取ったところでは、参加資格や開発期間に問題はなかったが、予算額が見合わないとの判断をされた、とのこと。</p>
<p>参考見積りの依頼は複数をお願いしているのか。</p>	<p>災害救助法に基づく業務実績があり、システム開発も行っている事業者に参考見積りの依頼を行った。今後は可能な限り対象を幅広くしていきたい。</p>
○その他	
-	